



2026年9月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ス ア
代 表 者 名 代表取締役社長 間 地 寛
(コード番号：246A 東証グロース・名証メイン)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 植 村 恒 明
(TEL 052-452-5588)

配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、2026年9月14日開催の取締役会において、2027年6月期の配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当予想修正の理由

当社は、中長期的な事業成長に向けた内部留保の充実と、株主の皆様への継続的な利益還元の双方のバランスを重視しております。この基本方針のもと、「配当による直接的な還元」と「株主優待による還元の充実」を組み合わせた総合的な株主還元を実施しております。

また、当社は2026年5月14日に、株主優待制度について、年間20,000千円を下限とし、業績に応じて優待原資を設定する方針へ変更いたしました。しかしながら、2026年8月10日に公表した2027年6月期の株主還元予想においては、当期純利益の増益を見込む業績予想であったにもかかわらず、株主優待額および配当予想を前期と同水準としており、5月に公表した業績連動型の株主還元方針との整合性が十分ではありませんでした。

このため、当社は株主還元方針との整合性を確保する観点から、同日付で公表しております「株主優待額の増額および業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、2027年6月期の株主優待額を従来予想の20,000千円から40,000千円へ増額することといたしました。

一方で、株主還元総額の配分を見直した結果、2027年6月期につきましては配当による還元に代えて株主優待による還元を優先することとし、1株当たり配当予想を7円00銭から0円00銭へ修正いたします。なお、本修正は当社が公表している業績連動型の株主還元方針との整合性を確保するために行うものであり、当面の間は株主優待を中心とした株主還元を実施するものであります。なお、配当を恒久的に実施しない方針へ変更するものではありません。

当社は、配当による株主還元の重要性についても十分認識しております。一方で、当面の間は株主優待による還元を優先し、総合的な株主還元の充実を図ってまいります。今後は、業績、財務状況および成長投資の必要性等を総合的に勘案しながら、株主還元のあり方を継続的に検討してまいります。

2. 配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2026年8月10日公表)	0円00銭	7円00銭	7円00銭
今回修正予想	—	0円00銭	0円00銭

前期実績 (2026 年 6 月期)	0 円 00 銭	7 円 00 銭	7 円 00 銭
-----------------------	----------	----------	----------

なお、2027 年 6 月期における株主還元総額は、同日公表の「株主優待額の増額および業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、株主優待額を従来予想の 20,000 千円から 40,000 千円（従来予想比 2 倍）へ増額することにより、総合的な株主還元の充実を図ってまいります。

以上